

青い波北陽台

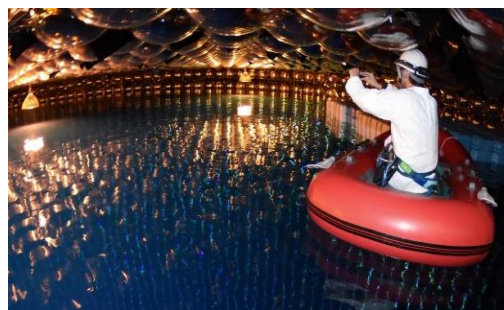
令和6年11月5日 発行
長崎県立長崎北陽台高等学校
西彼杵郡長与町高田郷3672
TEL 095-883-6844
FAX 095-883-0776
発行責任者 大川周一

チャンスは周到な準備をした者だけにやってくる

校長 大川周一

秋の夜空は美しい。特に、大気が澄みわたり、空気が乾燥して光の透過率が高まる晩秋から冬にかけての星々は、ひときわ明るく輝く。また、春や夏に比べて輝く一等星の数も増えるため、夜空は一段と賑やかさを増していく。この季節、夜空を眺めては思い出す言葉がある。「ニュートリノは全人類の上に平等に降り注いでいた」・・・2002年にノーベル物理学賞を受賞された小柴昌俊先生の言葉である。

岐阜県の地下1000メートルに巨大な水槽からなるニュートリノ観測装置（カミオカンデ）を建造、地球から16万光年離れた超新星から飛んでくる素粒子ニュートリノの観測に世界で初めて成功し、宇宙誕生の謎に挑んだ博士である。ニュートリノは原子よりもはるかに小さく、電荷をもたない中性の小さな素粒子で、光速に近い速度で宇宙を飛び回っている。あっという間に我々の体や地球を貫通し、宇宙の果てに飛んで行ってしまふ。ニュートリノからしたら、ヒトの細胞も地球も隙間だらけとい



スーパーカミオカンデ（東大宇宙線研究所提供）

うことなのだろう。そんな掴みどころのない見えない素粒子の痕跡を捉えたのだからすごい話である。

頭が混乱するのでニュートリノの話はこれくらいに留め、小柴先生の逸話をいくつか紹介したい。その一つは、先生が大学院生時代に、ある高校で物理の臨時講師をされていた時の話である。試験問題に「この世に摩擦がなければどうなるかを記せ」と出題された。皆さんなら何と答えるだろうか？先生の模範解答は「白紙答案」!! 摩擦がなければ、鉛筆の先は、紙の表面をツルツルと滑って文字は書けないからと説明され、生徒を驚かせたそうである。物理学の本質を突いた小柴先生らしい大らかな発想である。

もう一つは、4年ほど前の朝日新聞で紹介されていた評伝である。大学の定年間際に装置を改良して観測を再開した直後、カミオカンデに超新星爆発のニュートリノが飛び込んできた。これを「ラッキーでしたね」と言って、先生に怒られた記者は多かったようだ。「ちゃんと準備していたからこそ観測できたんだ」と説教されたそうである。『運がいいなんてあり得ない。チャンスは周到な準備をした者だけにやってくる』。物事の真理の扉をこじ開けるその日まで、備えを怠ることなく、研究を続けてこられた小柴先生の人生が集約された示唆に富む言葉である。大学を退官する当日も、カミオカンデから研究室に届いた観測データを地道に確認されていたそうである。

自分のやりたいことを、どこまでも深く探究できる人生ほど幸せなことはないだろう。しかし、その裏では、目の前のやらなくてはならないことを一生懸命やるということ。一見、自分の夢とは直接関係のなさそうなことでも、その時々でやるべきことに一生懸命取り組みれば、そこからいろいろな学びを得て人は成長していくものである。好きなことは誰でも頑張れるが、嫌いなことや苦手なことにも逃げずに頑張れる力というのは、人生においてすごく大切な力であると思う。

今年度も残り5か月を切った。令和6年度の進路のしおりの巻頭言「一の字」と「積の字」を今一度読み返してほしい。そして、目標達成に向けて、地道な努力を継続できる長崎北陽台生であってほしいと願う。

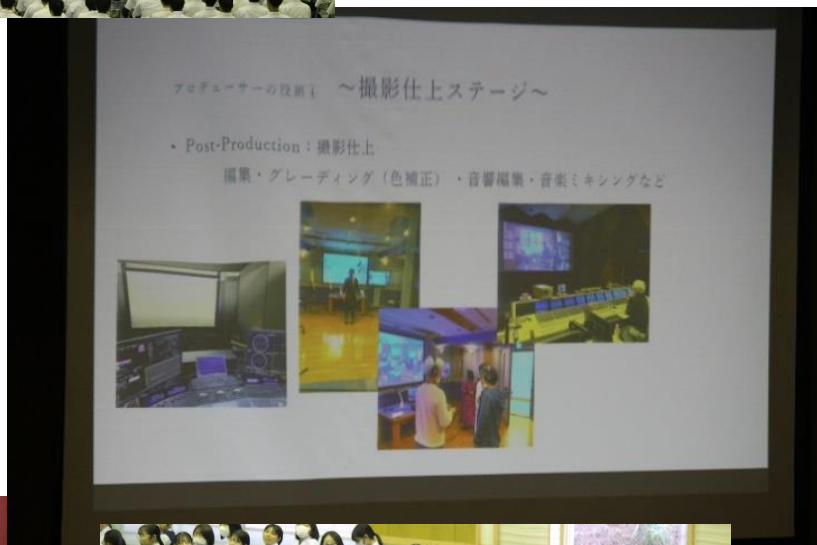
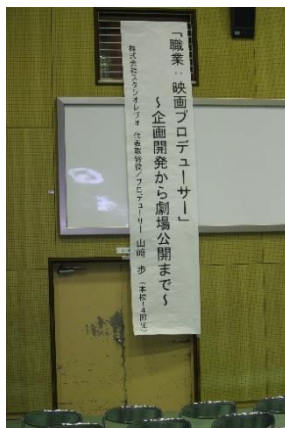
令和6年度 人生の達人セミナー

10月31日（木）本校体育館にて『人生の達人セミナー』を実施しました。

株式会社スタジオレヴォの代表取締役／プロデューサー、山崎 歩氏（長崎北陽台高校 14 回生）を講師としてお招きし、『職業：映画プロデューサー ～企画開発から劇場公開まで～』と題して、大変興味深い講演をしていただきました。

私たちの身近にあるテレビや映画といったメディアを、どのようにして制作していくかという過程を中心にお話ししていただきました。生活の一部となっている映像世界ですが、その一つの作品には、数多くの人の思いが詰まっています。その多くの思いを中心となってつなげていく、プロデューサーという職業に生徒は興味深く拝聴していました。山崎様からは、紆余曲折あって、今この職業に就けたことは、これまでの様々な価値観や考え方もつ方々に出会って、自分自身を見つめることができたからこそであり、自分自身と向き合うことの大切さを教えていただきました。質疑応答の時間には、数多くの生徒がプロデューサーという職業や映画についての質問をして、山崎様の映画に対する深い愛情をより深く知る貴重な時間となりました。

生徒にとって、これまでと違った映画の新しい見方を見つけることのできた、意義深いものとなりました。



令和6年度 芸術鑑賞会

今年度の芸術鑑賞会は、令和6年10月24日（木）に本校体育館で和泉流二十世宗家であられる和泉元彌氏をお招きし、「狂言らいぶ」のステージを開催しました。演目は第一部「鬼瓦」、第二部「盆山」、第三部は和泉元彌氏によるトークとワークショップの三部構成でした。

狂言は室町時代の日常語による会話劇で、日本最古の喜劇とされています。生徒は普段からこのような日本の伝統文化に触れることはあまりないと思われるため、完全に理解しながら鑑賞することに困難な面も出てくると思われましたが、狂言に関する丁寧な説明やワークショップもあり、大変分かりやすく、興味深く鑑賞することが出来たようです。時折、笑い声も出てくる等、和やかな鑑賞会となりました。



大学の先生による特別講義

1・2学年進路指導部

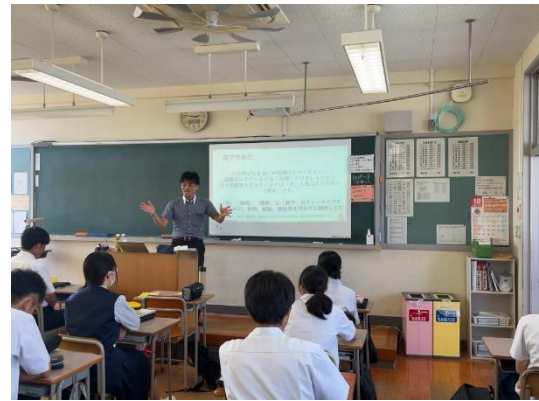
1・2学年の生徒を対象に、大学の先生方をお招きし出前講座を実施しました。今回は、5つの大学から計18の学部学科の先生にお越しいただき、生徒は前半後半で2つの講義を受講しました。普段の授業で学ぶ内容よりもさらに高度で専門的な知識を得ることができたと思います。大学での学びがどのようなものなのか少しでもイメージでき、今後の学習に積極的に取り組もうと思えるきっかけになることを期待します。

以下に、一部の生徒の感想を紹介します。今回の講義では、第一希望の講義に加え、今まで関心がなかったような分野の講義を受講した生徒も多くなります。今後も、自分の興味のアンテナをいろいろな方向に広く向け、様々なことに興味関心を持つよう心がけましょう！

〈生徒の感想〉

- ・犬糸状虫の実際の手術映像を見ることができた。人間の病気は分野や種類ごとに先生を変えられるけれど獣医師は犬や猫などの複数の種族を見ないといけないのが大変だなと思いました。(受講：宮崎大学 農学部獣医学科)
- ・今自分たちが高校で勉強しているのは古典物理学であって、最新の物理学はつねに更新されていて奥が深いなと思った。量子の世界では化学の知識なども活かせることができ、今習っている物理学の問題をひたすら解くだけではいけないんだということを実感した。(受講：九州大学 工学部航空宇宙工学部門)

・塾と学校の違いを学ぶことが出来ました。塾は勉強だけを教えとけばいいが、学校は勉強だけではなく、人間関係や協調性など人として大切なことを教えなければならない事が分かりました。(受講:長崎大学 教育学部(小学校))



【1学年より】

立ち止まり、自分を見つめ直す

1学年 下條 尚子

体育大会後、授業が深化していきました。連日続く暑さの中、試験対策への切り替えは、容易ではなかったと思いますが、多くの生徒の皆さんが授業に集中していました。試験2週間前に試験範囲を学年の teams にて配信し、計画的な学習をお勧めしました。加えて、1週間前には「学習相談会」を開催し、放課後生徒の皆さんの個々の質問に担当者が対応しました。教員側も、生徒の皆さんのつまづきがどこにあるかがわかり、貴重な機会となりました。好評だったため、その後も「質問システム」として、皆さんの質問をお待ちしています。

定期試験終了後には、学年集会を実施しました。様々な節目に対してカウントダウンが始まっていること、3年の先輩は共通テスト100日前を迎えること等を話しました。1年生では、対外模試を前に、マナビジョンに志望校を入力することを指導しています。これによって、1年の時点で判定などを見ることが出来ます。志望校の難易度等も含めて目標を定め、何事も早めに作戦を立てることが肝要だからです。また、かなり精選している学習課題ですが、提出が滞る人が出てきました。現在その皆さんには、学習支援を実施しています。まず、現状を紙に書き出し自己分析し、教科担当者と相談、自身の生活について、紙上でスケジューリングしました。2週間継続し、現状を視覚化することで、多くの生徒の皆さんに取り組みに改善が見られました。そのため、引き続き、2期目の支援を進めています。

現在、あらゆる部活動において、新人戦等の大会が実施されています。部活も、学習も、行事も、様々な場面において、どん欲に成果を出していくことを期待しています。それができるのが、46回生の皆さんだと実感しています。

保護者の皆さま、日頃よりお子様の見守り、支援をいただき感謝申し上げます。日々、心身ともに成長が見られる皆さんです。その変化を楽しみに、毎日過ごしております。お困りの点があれば、ぜひお知らせください。



「 考動 」

2年1組担任 品川 英貴

成功する6カ条

1. 人間的成長を求め続ける
2. 自信と誇りを持つ
3. 常に明確な目標を指向
4. 失敗も成功につなげる
5. 時間を有効に活用
6. できる方法を考える

失敗する6カ条

1. 現状に甘え、逃げる
2. 失敗を恐れて何もしない
3. 愚痴っぽく言い訳ばかり
4. 途中で逃げ出す
5. できない理由が先に出る
6. 不可能だ、無理だと考える

2学期も体育大会が終わり、後期の専門委員も開始しました。各部新人戦も行われています。いよいよ2学年の皆さんが中心となって長崎北陽台を動かす時が来ました。体育大会での3年生のリーダーシップや最後の行事に燃える熱い思いを目の前で見てどう感じましたか？更に上を目指してこれから頑張っていきましょう。

先日行なわれた進路講演会にて、ベネッセ顧問の田川祐治先生から熱のこもった講演をしていただきました。「執念」や「脳みそに汗をかこう」という言葉が印象的でした。行事や部活動が忙しい…やりたいことが見つからない時のアドバイスも貰いましたね。

1日、1週、1年のいずれの時間も増やすことはできません。しかし、あらゆることが時間を必要とします。時間をマネジメントできなければ何もマネジメントできません。時間は皆に平等に与えられています。それをどう使うかが重要です。

いま何をすべきなのか、しっかりと考えて【考動】していきましょう。

【3 学年より】

～3年地域清掃活動および秋のレクリエーション～

10月9日（水）に地域清掃活動および秋のレクリエーションを実施しました。天候にも恵まれ、充実した時間を過ごしました。

<レクリエーションのようす>



<クラス集合写真>



1組



2組



3組



4組



5組



6組



7組



8組

～共通テスト100日前集会～

10月10日(木)1校時に共通テスト100日前集会を行いました。校長先生をはじめ、多くの先生方から激励をいただきました。いよいよ受験に向けて44回生一丸となって頑張ります!!



11月の主な行事予定

- 1日(金) 県高校総体駅伝競技(雨天順延により5日に実施)
- 2日(土) 開校記念日 校外模試(全学年)
- 3日(日) 校外模試(2・3学年)
- 4日(月) 校外オープン模試(3年)
- 5日(火) 2年文理探究科中間発表会
- 9日(土) 校外オープン模試(3年)
- 12日(火) 1年文理探究科研修旅行(～14日)
- 15日(金) 生徒総会
- 16日(土) 校外マーク模試(3年)(～17日)
- 21日(木) 主権者教育(1年)
- 25日(月) 2年普通科総探フィールドワーク(午後)
- 30日(土) 3年土曜講座

